



地元高校生が被災家屋の片付けに協力!

昨年の震災で地盤の液状化により布佐東部地区では大きな被害がありました。被災家屋の中には、いまだに生活用品や思い出の品々が震災当時のまま家の中に残っており、高齢者のみの世帯など持ち出しや処分ができない家もあります。このため、夏休みの期間中に地元高校生が、市職員ボランティアと一緒に住宅の片付けを手伝うことになりました。

今回、「片付けボランティア」として参加したのは、「県立我孫子東高等学校」の運動部を中心とする生徒さんたちです。同校では、昨年も復興イベントにボランティアとして参加しており、その際、「今後も復興に協力したい」との申し入れをいただいていた。若い力の応援ありがとうございました。

問 布佐東部地区復興対策室 ☎7185-2462



JBF2012ボランティア募集



今年も11月にジャパンバードフェスティバルが開催されます。この日本最大の鳥の祭典には、全国から大勢の来場者が見込まれます。会場案内や交通案内など、フェスティバルをサポートするボランティアの方たちのご協力が、イベント成功への原動力です。JBFサポーターズとJBFバス停ボランティアを募集します。

①JBFサポーターズ

内容 我孫子駅、アビスタ、親水広場の3か所に設けた各案内所で、会場案内や各種チケットの販売を行います。

活動日時 11月3日(祝)、4日(日)午前8時30分～午後5時

※活動は、1日が最小単位です。詳しくは申込書をご覧ください。

支給経費 各日1000円(交通費・昼食代として)

サポーターズ事前説明会 10月14日(日)午前10時～正午、市役所分館大会議室

②JBFバス停ボランティア

内容 我孫子駅、水の館の各シャトルバス停留所で、チケットの販売や乗降客の案内、バス発着の安全確保などを行います。

活動日時 11月3日(祝)午前8時45分～午後5時15分、4日(日)午前8時45分～午後3時30分

※活動は、半日以上が最小単位です。詳しくは申込書をご覧ください。

支給経費 半日500円、一日1000円(交通費・昼食代として)

バス停ボランティア事前説明会 10月7日(日)午前10時～正午、鳥の博物館

共通事項

申込方法 電話・ファクス・Eメール。申込書(市役所、各行政サービスセンター、市民活動ステーション、教育委員会、アビスタ、図書館、公民館、白樺文学館、鳥の博物館、市ホームページに用意)に必要事項を明記

締切日 9月30日(日)必着

申・問 鳥の博物館 ☎7185-2212、FAX7185-0639、✉jbfsupport@city.abiko.chiba.jp



鳥の博物館へ行ってみよう!



問 鳥の博物館 ☎7185-2212

楽 鳥クイズ&スタンプラリー 2012

鳥の博物館では、上野動物園や東京大学総合研究博物館とともに「鳥クイズ&スタンプラリー2012」に参加します。

これは、日本鳥学会創立100周年を記念して、国立科学博物館の呼びかけに応じ、鳥の生態・研究・保護に対する理解を深めてもらうことを目的に行うものです。鳥の博物館にもスタンプラリー台紙とスタンプ台を用意しています。市内外から多くの皆さんに参加していただくため、記念品のほかダブルチャンスとして特別賞もありますので、ふるってご参加ください。

実施期間 9月1日(出)～12月9日(日)

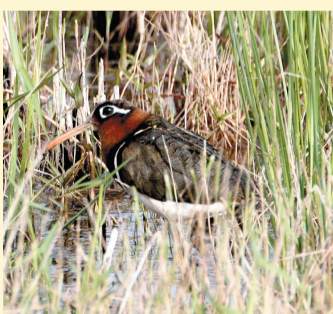


あびこ身近なとり

86

タマシギ(タマシギ科)

写真 安野 昌彦(鳥の博物館友の会)
文 村松 和行(鳥の博物館)



タマシギは湿地や水田などで1年を通して見られる鳥です。とても用心深く、夜に行動することが多いので、姿を見る機会は少ないかもしれませんが、運がよければ夏のくもった日や日没後の水田で「コウ、コウ、コウ」というさえずりを聞くことができます。さえずりというオスがメスへ鳴く声のイメージが強いですが、タマシギはメスがさえずります。

タマシギは鳥の中では少数派の一妻多夫の鳥で、抱卵や子育てはオスが担当します。カモやキジの仲間の多くはメスを引きつけるためにオスが鮮やかな羽色をしていますが、タマシギはメスの方が鮮やかです。

あびこ植物図鑑

300

ウツボグサ(靱草) シソ科

文・写真 佐久間 俊行



7月の初旬に岡発戸地区の五本松公園を訪れると、南端の広場に花を開いたウツボグサの群れがありました。ウツボグサは茎が四角形で、上部に3～8cmの花穂をつけます。花期は6～8月ごろで、花穂に紫色の唇形花を密につけます。花冠や萼は上唇と下唇に分かれています。花後の萼は口を閉じ、その中で果実を成熟させます。ウツボグサの名は、花穂の形を弓矢を入れる靱(かかん)に例えたものです。夏、花穂が黒っぽくなり、枯れたようになる直前に花穂だけを採集し、日干しにしたものを夏枯草(せきくそう)とよび、利尿薬として煎用します。

消費生活センターだより 5

☎04-7185-0999

出会い系サイトにおける高額請求のトラブル



「タレントの悩みを聞いてほしい」「高収入が得られる仕事がある」などとメールが送られてきて、やり取りをするうちに高額な料金を支払わされたという相談が寄せられています。返信すると有料出会い系サイトに誘導され、さまざまな口実でメールを続けるよう促され、高額な費用をつぎ込んでしまいがちです。メール相手が出会い系サイトの「サクラ」であることが考えられますが証明が難しく、お金を取り戻すことは困難です。うまい話には注意し、ネット上の見知らぬ相手をむやみに信用しないことが大切です。心配なときは消費生活センターにご相談ください。

相談受付日時

平日、第2、4土曜日 午前10時～午後5時30分
アビクオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)